

プログラムのねらい

- 児童生徒が自ら学級生活の問題を発見し、解決に向けて主体的に考えようとする力や習慣を身に付ける。
- 振り返りを次の自分の行動につなげたり、頑張りを仲間と認め合う活動を行ったりすることによって、よりよい学級を目指して主体的に取り組もうとする意欲の高まりを支える。

児童生徒の発達を「ささえーる」ポイント

- ①-1 教員主導ではなく児童生徒が課題を設定する。
- ①-3 意見の共有・集団の目標設定を自己決定へつなげる。
- ①-4 振り返りは自己評価に加え、仲間と認め合う活動を取り入れる。
- ①-5 振り返りと自己決定を結び付ける。
- ②-1 「合意形成の例」を提供し、多数決に頼らない合意形成を促す。
- ③-1 心に響くポイントを理解した上で褒める・認める言葉を掛ける。

指導プログラムの進め方

放課後等

代表委員（学級委員）や班長に対して、教員から本時の目的を話し、活動までの見通しを共有する。

帰りの会

児童生徒が、学級目標を達成するために行動できたかどうかを調べるアンケートを行う。

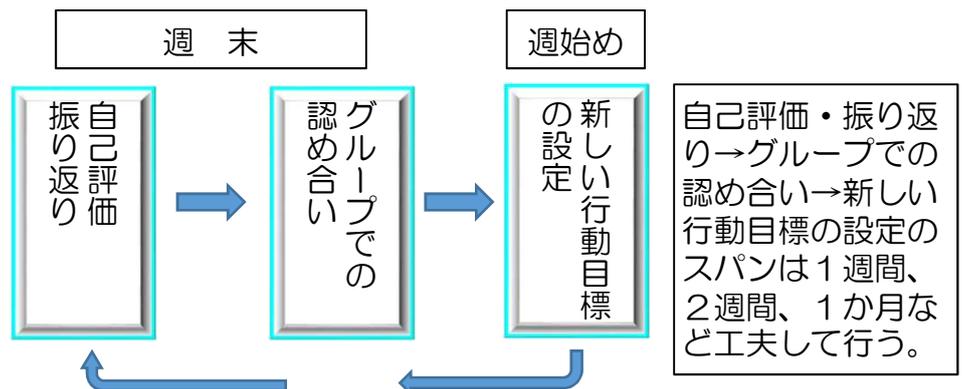
放課後

代表委員（学級委員）や班長と一緒にアンケート結果を集計し、学級で話し合う内容を決定する。

学級活動

題材「学級生活を充実させよう」

朝の会  
帰りの会



# 学級活動へつなげる事前の活動

小学校・中学校

## 学級生活を充実させよう —学級目標を活用して—

### 活動のねらい

○学級の課題を自分事として捉え、自分の意思を持って合意形成に臨む学級活動にすることを旨とする。

#### 放課後等

代表委員（学級委員）や班長に対して、本時の目的を話し、活動までの見通しを共有する。



代表委員（学級委員）と班長の皆さん、最近の学級生活を振り返ってみて何か問題点はありますか。

〇〇〇のようなよいところやできているところはたくさんあるけれど、△△△のような問題点も見られます。

よいところに気付きましたね。次回の学級活動では、学級生活の振り返りをしようと思います。帰りの会で事前アンケートをとって、放課後に学級活動で話し合う議題について決めたいと思います。



#### 帰りの会

児童生徒一人一人が、学級目標を達成するために行動できたかどうかを調べるアンケートを行う。

この学級になって半年が経ちました。よりよい学級にするために、来週の学級活動では、学級生活の振り返りを行います。よりよい学級活動の時間にするため、現在の学級の状況についてのアンケート記入に協力をお願いします。



#### 放課後

代表委員（学級委員）や班長と一緒にアンケート結果を集計し、学級で話し合う内容を決定する。



アンケート結果を集計し、「よさ」と「改善点」を挙げましょう。そして「改善点」の中から学級で話し合う内容を決定しましょう。

「よさ」については・・・、が挙がりました。「改善点」については・・・などが挙げられました。

学級活動の議題はどうしますか。



意見として出た「チャイム着席が不十分」「めりはりをつけられていない」という意見から「時間を意識して生活しよう」という議題に設定したいと思います。提案理由としては、学級目標が「何事にも前向きに取り組む学級」で、いろいろな場面で自分から行動できるような集団にしていきたいと考えたから、と学級活動の時間に伝えたいと思います。



## 学級目標の達成状況を振り返ろう

		氏名
組	番	

学級目標を見ましょう。すてきな目標ですね。この学級が始まり、もうすぐ6か月です。よりよい学級にするためにみんなでこの目標を立てましたが、現在の達成状況はどうでしょうか。学級全体を思い返しながら次の1～3の質問に回答し、学級目標の達成状況を振り返ってみましょう。

### 1. 現在、学級目標の達成状況は何パーセント??

**【基準例】**参考にしてね！

- 0%・・・4月から成長していないな
- 30%・・・成長はしているけれど、まだまだ物足りないなあ
- 70%・・・よい感じに成長している。でも、まだまだみんな努力できる！
- 100%・・・パーフェクト！文句なし！

%

### 2. この学級のよいところ、すてきなところはどこですか？

### 3. この学級の改善すべきところはどこですか？ （理由も教えてください）

本時の目標

○学級生活の充実・向上のために課題を発見し、集団としての解決方法を合意形成したり、個人としての実践目標を意思決定したりすることができる。

児童生徒の発達を「ささえーる」ポイント

- ①-1 教員主導ではなく児童生徒が課題を設定する。
- ①-3 意見の共有・集団の目標設定を自己決定へつなげる。
- ②-1 「合意形成の例」を提供し、多数決に頼らない合意形成を促す。

授業展開例

導入 5分

学 習 活 動

◇指導上の留意点

「ささえーる」ポイントを意識した具体的な働き掛け

- 1 代表委員（学級委員）による学級目標達成度アンケート結果の報告を聞き、本時の話し合いの議題を把握する。（3分）



【報告の例】

- ・学級目標達成度は○%
- ・学級のすてきなところは○○
- ・課題は○○
- ・今回の議題は「時間を意識して生活しよう」について話し合いたいと思います。
- ・提案理由は、学級目標が「何事にも前向きに取り組む学級」で、自分から行動できるような集団にしていきたいと考えたからです。

- ◇学級目標達成度、すてきなところ、よいところ、改善点について学級委員から報告させる。

ポイント①-1

【教員主導ではなく児童生徒が課題を設定する】

学級目標達成度アンケートの内容を生かし、クラスの一人一人から出された意見の中から議題を設定したことを強調して説明するよう促す。そうすることでクラスの一人一人がよさや改善点について自分事として考え、主体的に解決を目指す意識が高まる。また集団の一員として大切にされているという実感（自己存在感）を育む。

- 2 話し合いの補足説明について教師の説明を聞く。（2分）

- ◇個人→グループ（小さな集団）→学級（大きな集団）のステップを踏み、話し合いを進めていくことを伝える。

- 3 個人で改善策を考える。（5分）



時間を5分とります。課題に対する改善策を考えましょう。「○○しない」などの否定的な策ではなく、「○○する」や「○○を心掛ける」などプラスの策を考えましょう。

- ◇付箋紙に記入させる。

主活動 35分

- 4 グループで合意形成を目指して話し合う。（10分）



グループで話し合います。台紙に貼りながら発表します。まずは、それぞれの意見のよさに目を向けましょう。1つの案を選ぶのではなく、それぞれの案のよさを組み合わせたり、新しい意見を作ったりして、改善策を1つ提案しましょう。

- ◇意見を交流したり組み合わせたりしやすくするために、「合意形成の例」を配布する。

ポイント②-1

【「合意形成の例」を提供し、多数決に頼らない合意形成を促す】

すぐに多数決などで意見を決めるのではなく、まずは一人一人の意見のよさに目を向けるように促す。その後に「合意形成の例」を参考にしながら話し合いに参加することで、自己存在感や自己有用感を育む。

学 習 活 動	◇ 指 導 上 の 留 意 点
<p>5 学級で改善策を共有する。(20分)</p>  <p>では、学級全体で改善策を共有します。発表の準備ができた班はありますか。○班さん改善策を書いた台紙を黒板に貼って、発表してください。</p> <p>今○班さんから～という意見が出ましたが、同じような意見だという班はありますか。(あれば、その班を指名し発表してもらい)なければ、次に○班さんお願いします。(発表が終わったら)同じような意見はありますか。</p>	<p>◇学級での意見の集約場面で、代表委員(学級委員)が司会進行と黒板書記を行う。</p> <p>ポイント②-1 【「合意形成の例」を提供し、多数決に頼らない合意形成を促す】 すぐに多数決を行うのではなく、意見の発表後に「同じような意見はありませんか」と問い掛けて整理していくことで、自分や自分の班の意見が大切にされている安心感と、今後も積極的に意見を出そうとする意欲の高まりにつなげる。</p>  <p>では出された意見を確認します。「○○○」「○○○」・・・の意見が出ました。どれも学級生活を充実させていくために大切な意見だと思います。明日から全員で意識して生活していきましょう。</p>
<p>6 自分宣言を立てる。(10分)</p>  <p>学級としては「○○していこう」「○○を意識して生活しよう」ということになりましたが、皆さん一人一人はこれからこの学級の一員として具体的にどんなことができるでしょうか。行動と意識を組み合わせ「自分宣言」を立てましょう。</p>	<p>◇本時の学級活動を「学級活動を生かした事後の活動」につなげるため、自分が学級のために意識していきたいことをワークシートに記述させる。</p> <p>ポイント①-3 【意見の共有・集団の目標設定を自己決定へつなげる】 意見の共有や、集団の目標設定で活動が終わることのないよう、グループや学級全体で共有した改善策をヒントにして、自分が意識することや行動することについて考え、意思決定(自己決定)の時間を確保する。</p>

## 学級生活を充実させよう

		氏名
組	番	

アンケートの結果を確認しよう！

学級の課題

【

提案理由

（

学級で共有したい改善策

自分宣言

私は学級のために・・・

「合意形成の例」  
～みんながなっ得できる話し合いにするために～

合意形成  
って何？

話し合いの場面で、意見が食いちがっている、または複数ある場合、たがいの意見や考えをみとめ合いながらなっ得のいく形で意見をまとめること。

- ×：本当はちがう意見なのに何となく周りに合わせる。
- ×：相手の意見をひ定する。
- ×：少数意見を持つ人に対し、多数意見に合わせるようプレッシャーをあたえる。
- ：自分も幸せ（なっ得）、みんなも幸せ（なっ得）な意見や提案を目指す。

合意形成の方法

①新しい考えをつくる方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」
- 提案：サッカーと野球の意見→フットベースボールを行う。

②意見を合わせる方法

- （例）議題：「大会を盛り上げる工夫」
- 提案：メダルと賞状の意見→ゆう勝者にメダル、参加者全員に賞状をわたす。

③優先順位を決める方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」
- 提案：つな引きとリレーの意見→つな引きを大会で行い、リレーは休み時間クラス遊びの時間に行う。

④条件を付ける方法

- （例）課題：「このゲームはルールを知らない人がいる」
- 提案：実せんの日までにルールを確実に教えるという条件を付けて決定する。

⑤少しずつ全部行う方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」
- 提案：バスケットボールとドッジボールの意見→20分ずつ両方を実施する。

⑥共感的に理解し、ゆずる方法

- （例）課題：複数の意見が出た場合
- 提案：「〇〇さんの思いはよく分かりました。今回は私の意見ではなく、〇〇さんの意見の方がよいと思います。」

⑦時間をかけて話し合い、全員のしょうにんを得た上で多数決を行う方法

- （例）課題：意見が多く、一致させることが難しい
- 提案：「時間をかけて話し合いましたが、決まらないので多数決で決めてもいいですか。決まったら、全員で協力して取り組みます。よいですか。」全員のしょうにんを得てから行う。

## 「合意形成の例」 ～みんなが納得できる話し合いのために～

### 合意形成 って何？

話し合いの場面で、意見が食い違っている、または複数ある場合、互いの意見や考えを認め合いながら納得のいく形で意見をまとめること。

- ×：本当は違う意見なのに何となく周りに合わせる。
- ×：相手の意見を否定する。
- ×：少数意見を持つ人に対し、多数意見に合わせるようプレッシャーを与える。
- ：自分も幸せ（納得）、みんなも幸せ（納得）な意見や提案を目指す。

## 合意形成の方法

### ①新しい考えをつくる方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」  
提案：サッカーと野球の意見→フットベースボールを行う。

### ②意見を合わせる方法

- （例）議題：「大会を盛り上げる工夫」  
提案：メダルと賞状の意見→優勝者にメダル、参加者全員に賞状を渡す。

### ③優先順位を決める方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」  
提案：綱引きとリレーの意見→綱引きを大会で行い、リレーは休み時間クラス遊びの時間に行う。

### ④条件を付ける方法

- （例）課題：「このゲームはルールを知らない人がいる」  
提案：実践の日までにルールを確実に教えるという条件を付けて決定する。

### ⑤少しずつ全部行う方法

- （例）議題：「スポーツ大会で何をするか」  
提案：バスケットボールとドッジボールの意見→20分ずつ両方を実施する。

### ⑥共感的に理解し、譲る方法

- （例）課題：複数の意見が出た場合  
提案：「〇〇さんの思いはよく分かりました。今回は私の意見ではなく、〇〇さんの意見の方がよいと思います。」

### ⑦時間をかけて話し合い、全員の承認を得た上で多数決を行う方法

- （例）課題：意見が多く、一致させることが難しい  
提案：「時間をかけて話し合いましたが、決まらないので多数決で決めてもいいですか。決まったら、全員で協力して取り組みます。よいですか。」全員の承認を得てから行う。

# 学級活動を生かした事後の活動

## 学級生活を充実させよう 一学級目標を活用して一

小学校・中学校

### 活動のねらい

○自分の行動を振り返ったり仲間からの賞賛を受けたりする機会が増え、自らよりよい生き方をしようという意識が高まる。

### 児童生徒の発達を 「ささえーる」 ポイント

- ①ー4 振り返りは自己評価に加え、仲間と認め合う活動を取り入れる。
- ①ー5 振り返りと自己決定を結び付ける。
- ③ー1 心に響くポイントを理解した上で褒める・認める言葉を掛ける。

## 振り返りと次の目標設定

### 【活動の流れ】

- (1)自分が設定した目標に対する自己評価を行う。（数値・よさ・課題）
- (2)班員の姿や活動場面を意識して、具体的な頑張りを認めるメッセージを贈る。
- (3)班員から自分へのメッセージを確認することで、自己存在感や自己有用感の高まりにつながる。
- (4)振り返りや班員からのメッセージを生かして新しい自分宣言（行動目標）を設定する。

※1：振り返りシートは1週間ごとに「振り返り→新しい目標設定」2週間ごとに「振り返り→新しい目標設定」1か月ごとに「振り返り→新しい目標設定」など期間を設定して行ってください。

※2：今回は、学級活動で設定した自分宣言を1回目の目標としていますが、学級の実態に応じて目標を立てさせたり、行事と組み合わせて目標設定をしたりして活用することもできます。

※3：振り返りのシート（スプレッドシート）を班ごとに共有して使用する。

※4：記入例のシートがあるので、最初は例を参考にしながら記入するよう伝える。

### 「ささえーる」ポイントを意識した具体的な働き掛け

#### ポイント①ー4

【振り返りは自己評価に加え、仲間と認め合う活動を取り入れる】

振り返りシートを活用することで、自己評価で終わるのではなく、他者の頑張りやよさに目を向けて生活する意識が高まる。

#### ポイント①ー5

【振り返りと自己評価を結び付ける】

新しく自分宣言を設定する際には、前回の自分の振り返りと班の仲間からのメッセージを必ずもう一度読むように促す。

振り返りと自己決定を合わせて行うことで自己理解の深化につなげる。

#### ポイント③ー1

【心に響くポイントを理解した上で褒める・認める言葉を掛ける】

（言葉掛けの例）

○メッセージを贈ることができた児童生徒へ

- ・相手のことをしっかり見ているね
- ・思いやりを感じる言葉選びだね

○メッセージを贈ってもらえた児童生徒へ

- ・仲間はあなたの頑張りを見ていてくれたね

○メッセージを贈ることができない児童生徒へ

- ・他の級友が書いているメッセージがヒントになるよ
- ・今回は書けなくても大丈夫だよ。来週はみんなの頑張りにも目を向けて生活してみようね

# 振り返りシート（スプレッドシート）の使い方

## はじめに

- まずはじめに！
- ① 班ごとに、あ〜かのシートのうち、自分がどのシートを使うか決め、自分のシートのタブ名（あ〜か）を、自分の名前に書き換えます。
  - ② 自分のシートの振り返りシート①の氏名（あ〜か）を、自分の名前に書き変えます。

振り返りシート				
自分宣言記入日	9月	27日	(水)	
振り返り記入日	10月	6日	(金)	
氏名	美田園	太郎	②	
—自分宣言—				
私は、クラスのために				
自分の担当の仕事でなくても、積極的に活動します！				
【振り返り】				
今週の自分宣言達成度に丸をつけよう！	よくできた	できなかった		
	5	④	3	2 1
ポイント】ここをがんばった！	【私のチャレンジポイント】未達成			
記入例 ①	あ	い	う	え お か

## 記入例

1期 18番 氏名 美田園 太郎				
—自分宣言—				
私は、クラスのために				
自分の担当の仕事でなくても、積極的に活動します！				
【振り返り】				
今週の自分宣言達成度に丸をつけよう！	よくできた	できなかった		
	5	④	3	2 1
【私のきらりポイント】ここをがんばった！	【私のチャレンジポイント】未達成ここをがんばりたい！			
水曜日、○○さんが欠席したとき、○○さんの代わりに給食配膳の仕事自分から行った	掃除の時間、自分の分担区が終わった後、他の分担区を手伝わずに友達とお話をしていたので、手伝うようにしたい			
頑張ったことや、できたことを書こう。	【班の仲間から】		次回頑張りたいこと、クラスのために挑戦したいことを書こう。	
(太郎)さんへ 自分から気付いて○○さんの分まで活動していたところがありました	(太郎)さんへ 次からは、自分たちの清掃分担区を早く終わらせて、一緒に他の班を手伝おう！		(○○)さんへ 班の仲間一人一人に、具体的な場面を意識して褒め言葉をかけたり、一緒に頑張りたいことなどを伝えよう！	
(△△)より	(◇◇)さんへ			
( )さんへ	( )さんへ			
( )より	( )より			
( )さんへ	( )さんへ			